

エンタープライズ ネットワークにおける AIの誇大広告と AIネイティブの現実

はじめに

簡単な思考実験を始めましょう。マラソンのスタートラインに同じような選手が数人並んでいるとします。ここで重要なのは、優勝する選手を正しく推測することです。どのランナーも万全で自信に満ちた発言をしているように見えますが、あなたは彼らのトレーニング方法についてはほとんど知りません。ただし、次世代のトレーニング法を長年微調整してきた経験のある、優れた能力を持ち合わせている可能性がある選手が1人いることは分かっています。対照的に、その他の選手は従来の手法に固執しており、新たな手法を側面的に取り入れ始めたばかりです。あなたはどの選手が優勝すると思いますか。走者やトレーニング戦略についての詳細を知らなければ、幸運を祈るしかありません。

このシナリオは、ベンダーが市場に向けて発信している人工知能（AI）や機械学習（ML）に関するさまざまな主張を選り分けながらエンタープライズネットワークをアップグレードする際に直面する課題によく似ています。AI戦略やトレーニングモデル、長期的なアプローチに関する全容を把握していなければ、真価を発揮するものを見極めるのは困難です。

デジタル変革には、拡張性と俊敏性に優れた最新のネットワークアーキテクチャが必要です。ますます複雑化するネットワークインフラストラクチャに対応するために、非常に優れたモバイルエクスペリエンスと高い運用効率を提供するものでなければなりません。AI（人工知能）とML（機械学習）を活用することで、企業はネットワーク運用を大幅に簡素化し、最適化することができます。

ジュニパーのAIネイティブネットワークキングプラットフォームは、2つのアプリケーションユースケースに対応しています。キャンパスおよびブランチネットワークで従来のAIOps（IT運用のための人工知能）のコンテキストで 사용할こともできます（AI for Networking）。また、データセンターでAIやMLのワークロードの効率的な基盤として使用することもできます（Networking for AI）。エンタープライズネットワークキングのベンダーを評価する際は、AI戦略、継続学習モデル、フルスタック全体のAI統合ロードマップを考慮しましょう。

このeBookでは、「ネットワークにおけるAI」の詳細を明らかにし、誇大広告と現実のAIを区別するのに役立ちます。さまざまなAIネットワークキング戦略について解説し、AIに関する誇張された宣伝文句と、ネットワークを実行する運用コストを簡素化して削減しエンドユーザーエクスペリエンスを向上させる実際のAIのメリットを見分けられるようサポートします。最終的には、ネットワークやビジネスの強化にAIとMLを最大限に活用する方法について、情報に基づいた判断を下すのに必要な知識を得られます。

エンタープライズネットワークキングにおけるAIの誇大広告とAIネイティブの現実

はじめに

画期的なAI導入の機会の見極め

ネットワークキングの最適化の重要性

複雑さを克服する希望の光

AIネイティブは、適切なエクスペリエンスファーストの問いを立てることから始まる

コンテキストに応じた長期的な視点の重要性

AIネイティブネットワークキングのメリット

The NOW Way to Network

画期的な AI 導入の 機会の見極め

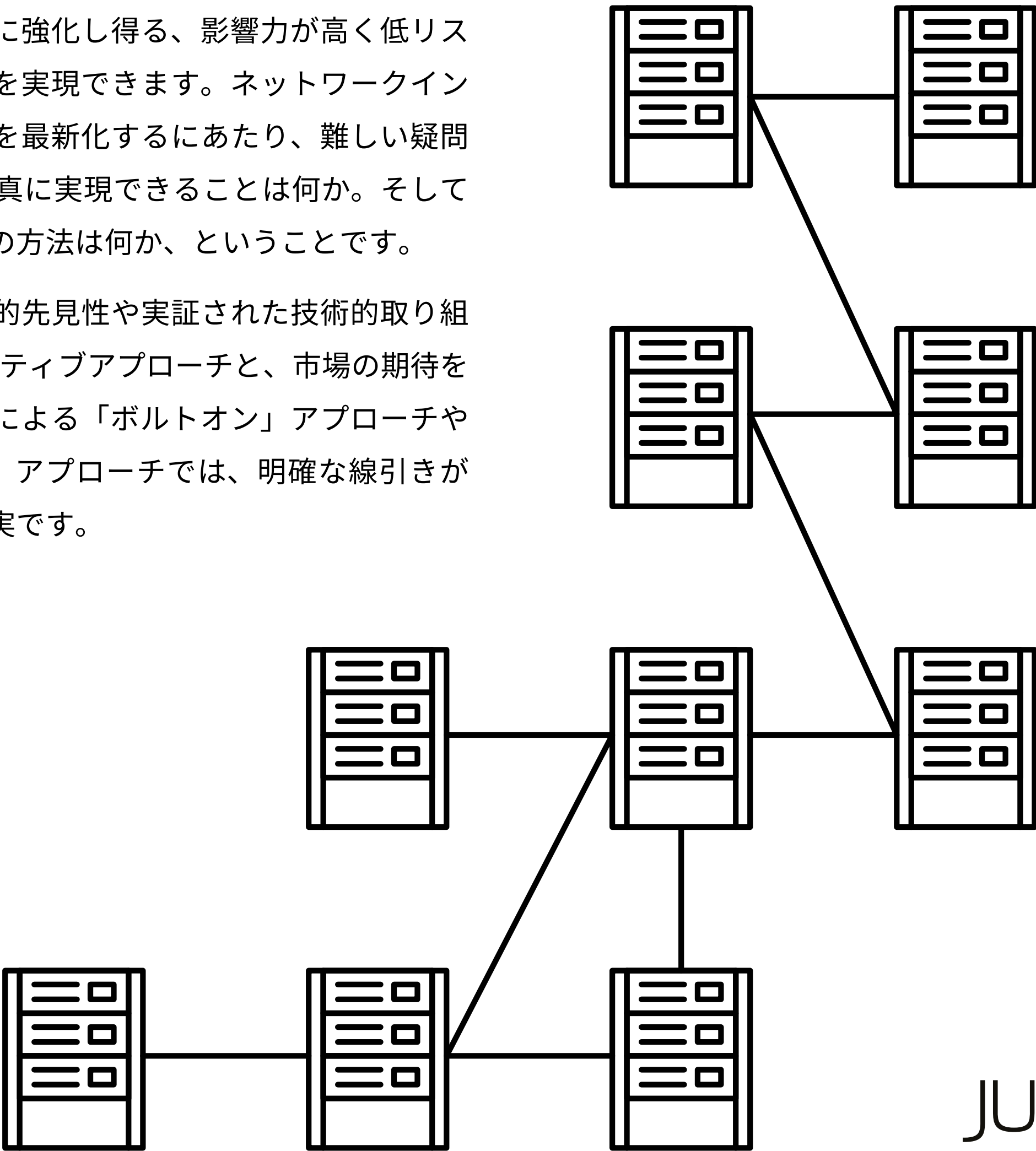
20 年以上前に無線 LAN（WLAN）コントローラが作成された当時、スマートフォン、タブレット、IoT（モノのインターネット）デバイス、クラウドアプリはほとんど注目されていませんでした。コントローラアーキテクチャは、無線クライアントの数が限られていて接続が便利な機能の 1 つであった旧来のネットワークのアクセスポイント（AP）管理には最適でしたが、現代のネットワーキングの需要や要件には対応できていません。

今日の生成 AI モデルや ML は、検索やコンテンツ作成から自動化や問題解決まで、従来のテクノロジーを打ち壊しています。そして、何が実現可能かについての期待も再構築しています。AI の導入が加速し、コンピューティングの需要が高まるにつれ、さまざまな領域におけるフルスタック AI の最適化は、SF 的な空想から一気に現実味を帯びてきています。

さまざまな可能性の中でもネットワーキングは、企業に AI を導入する最適なアプリケーションとして際立っています。ユーザーエクスペリエンスや IT 運用チーム

の業務効率を大幅に強化し得る、影響力が高く低リスクのユースケースを実現できます。ネットワークインフラストラクチャを最新化するにあたり、難しい疑問が生じます。AIで真に実現できることは何か。そして重要なのは、最善の方法は何か、ということです。

長い視野での戦略的先見性や実証された技術的取り組みに基づく AI ネイティブアプローチと、市場の期待を猛追するベンダーによる「ボルトオン」アプローチや「AI ウォッシング」アプローチでは、明確な線引きがあるというのが現実です。



エンタープライズネットワークにおけるAIの誇大広告とAIネイティブの現実

はじめに

画期的な AI 導入の機会の 見極め

ネットワークの最適化の重要性

複雑さを克服する希望の光

AI ネイティブは、適切なエク
スぺリエンスファーストの問
いを立てることから始まる

コンテキストに応じた長期的な視点の重要性

ネットワーキングの最適化の重要性



1-hour outage in
distribution centers

= \$35 million in
lost revenue

— Amazon



30 seconds of
lost visibility

= a patient wanders
out the door

— Veterans Administration



If the district
network is down

13,400 students
can't take the test

— Coppell Independent
School District

ネットワーキング業界は長年接続性を優先し、単純にネットワークを稼働させ、運用できるように維持してきました。ジュニパーの AI ネイティブアプローチでは、人、システム、デバイス間の接続品質やユーザーエクスペリエンスに重点を置くパラダイムシフトを実現します。不具合の多い Zoom 会議が、単なる接続性と質の高いエクスペリエンスとの違いを明確に示しています。

今日では、複雑さこそがエンタープライズネットワークに内在する主な課題となっています。最近の [Enterprise Strategy Group の調査](#) では、回答者の 73% が、自社のネットワークは過去 2 年間でさらに複雑化していると答えています。これについて考えてみましょう。¹

この複雑化は、増加するユーザー数やデバイス数、複数のデータセンターからキャンパスおよびブランチ、エッジロケーション、さらには無数のハイブリッドクラウド、プライベートクラウド、パブリッククラウドにいたるまで、すべてをサポートするための要件から生じています。急速に進化するユーザー、アプリケーション、サービスのエコシステムに対応しながら、どこからでも安全で高性能なアクセスをさまざまなデバイスに提供する必要があることはいうまでもありません。

ネットワーク運用チームの多くは、変化する企業の要件、ライフサイクル管理、進行中のネットワークの問題への対応に後れを取らないよう奮闘しています。従来のサイロ化された監視や管理ツールでは、クライアントの接続性や重大なネットワークイベントについて、エンドツーエンドの明確な可視化を実現することはできず、IT 担当者にアラーム疲労を負わせることになります。IT 運用チームの多くはネットワークを「砂上の楼閣」のように捉えており、問題を 1 つ解決すれば新たな問題が発生するか、あるいはネットワーク全体がクラッシュするのではないかという不安を抱えています。

運用上の課題による実際の影響は、ダウンタイム、セキュリティリスクの高まり、高価なコンサルティングサービスや IT 担当者の過負荷によるビジネスへの有形コストで評価されます。

**73% が 2 年前よりもネットワークが
複雑化していると回答しています。**

— **Enterprise Strategy Group** による調査

¹ 『AI-Native Requirements for Modern Networks』、Enterprise Strategy Group、2024 年 1 月。

エンタープライズネット
ワーキングにおける
AI の誇大広告と AI ネイ
ティブの現実

はじめに

画期的な AI 導入の機会
の見極め

ネットワーキングの最適化の
重要性

複雑さを克服する希望の光

AI ネイティブは、適切なエク
スぺリエンスファーストの問
いを立てることから始まる

コンテキストに応じた長期的
な視点の重要性

AI ネイティブネットワーキン
グのメリット

The NOW Way to Network

複雑さを克服する 希望の光

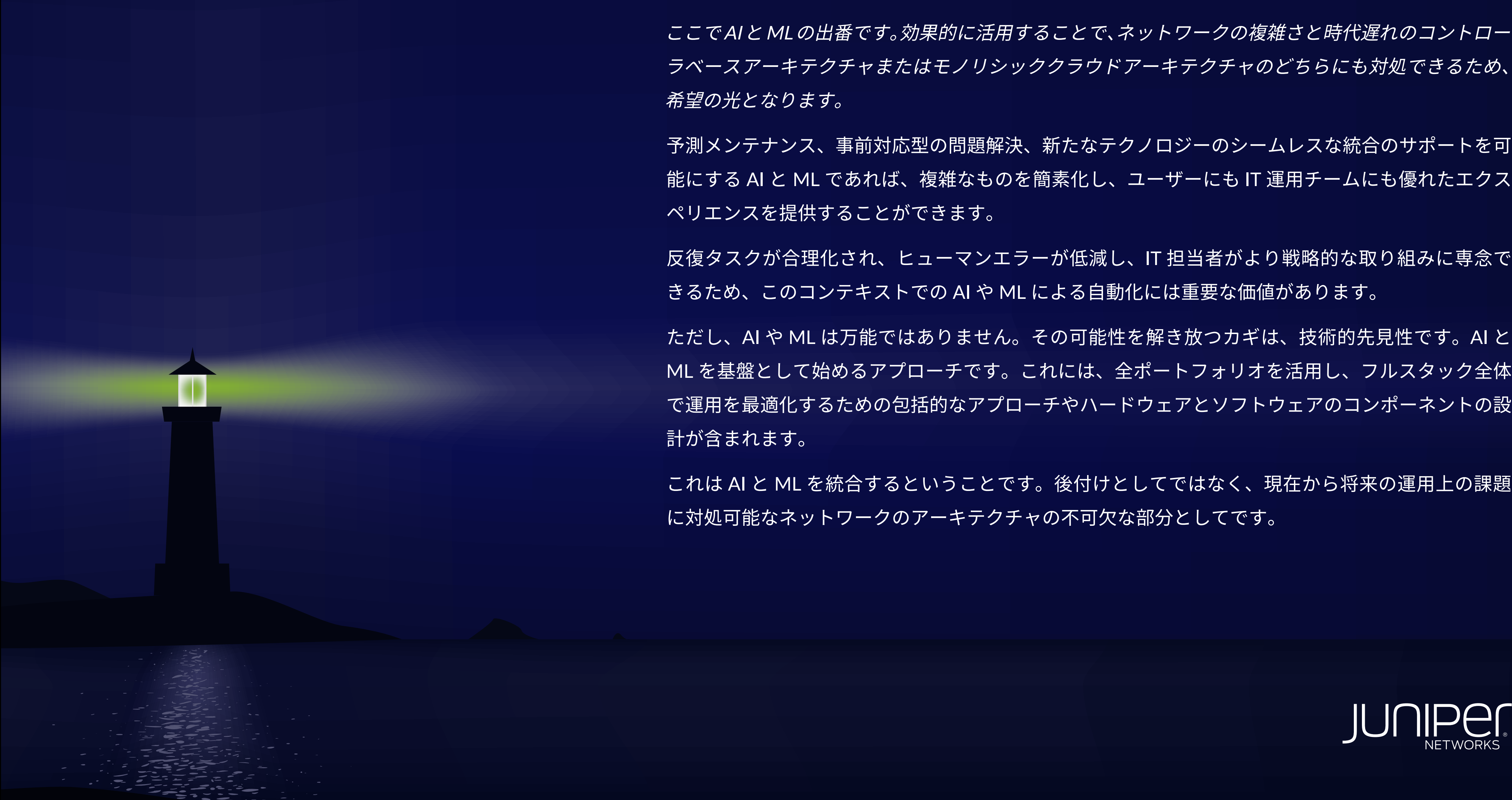
ここでAIとMLの出番です。効果的に活用することで、ネットワークの複雑さと時代遅れのコントローラベースアーキテクチャまたはモノリシッククラウドアーキテクチャのどちらにも対処できるため、希望の光となります。

予測メンテナンス、事前対応型の問題解決、新たなテクノロジーのシームレスな統合のサポートを可能にするAIとMLであれば、複雑なものを簡素化し、ユーザーにもIT運用チームにも優れたエクスペリエンスを提供することができます。

反復タスクが合理化され、ヒューマンエラーが低減し、IT担当者がより戦略的な取り組みに専念できるため、このコンテキストでのAIやMLによる自動化には重要な価値があります。

ただし、AIやMLは万能ではありません。その可能性を解き放つカギは、技術的先見性です。AIとMLを基盤として始めるアプローチです。これには、全ポートフォリオを活用し、フルスタック全体で運用を最適化するための包括的なアプローチやハードウェアとソフトウェアのコンポーネントの設計が含まれます。

これはAIとMLを統合するということです。後付けとしてではなく、現在から将来の運用上の課題に対処可能なネットワークのアーキテクチャの不可欠な部分としてです。



エンタープライズネットワーキングにおけるAIの誇大広告とAIネイティブの現実

はじめに

画期的なAI導入の機会の見極め

ネットワークの最適化の重要性

複雑さを克服する希望の光

AIネイティブは、適切なエクスペリエンスファーストの問いを立てることから始まる

コンテキストに応じた長期的な視点の重要性

AIネイティブネットワーキングのメリット

The NOW Way to Network

AI ネイティブは、適切なエクスペリエンスファーストの問いを立てることから始まる

エンタープライズネットワークにおけるAIの誇大広告とAIネイティブの現実

はじめに

画期的なAI導入の機会の見極め

ネットワークの最適化の重要性

複雑さを克服する希望の光

AIネイティブは、適切なエクスペリエンスファーストの問いを立てることから始まる

コンテキストに応じた長期的な視点の重要性

AIネイティブネットワークのメリット

The NOW Way to Network

AIネイティブアプローチは、一歩後ろに下がり、ネットワークの重要な課題への対処方法に関する大局的な厳しい問いを投げかけることから始まります。こうした問いには以下のようなものが挙げられます。

- あらゆる場所であらゆるユーザーが一貫して優れたエクスペリエンスを得られるようにするにはどうすればよいか。
- ユーザーが気づく前にネットワークが適応的に問題を修復できるか。
- サービスを問題なく迅速に稼働させるにはどうすればよいか。
- Day 2 運用を最適化して緊急に必要な対応作業を減らし、チームが戦略的に重要なビジネス上の問題に注力できるよう、ベンダーはどのような仕組みを用意しているか。
- ネットワークのあらゆる場所で、簡単かつシームレスにゼロトラストを実現できるか。
- ベンダーは、迅速に脅威を検出して無効化し、ビジネスへの影響を最小限に抑えることができるか。

- ビジネス要件の変化に費用対効果高く対応するのにネットワークの俊敏性は十分か。
 - ネットワークは関係者全員のニーズを満たせるか。
- こうした問いに答えるには、AIやMLによる革新的な機能が必要なだけでなく、オペレーティングシステムからハードウェアやソフトウェアにいたるまでのフルネットワークスタック全体で一丸となって取り組み、これまでにない方法で可視化やアクションのオーケストレーションが可能なテクノロジーの設計を始める必要があります。

さらに、異常検知、サービスレベル、イベントの関連付けのコンテキストにおいて、継続的に改善し学習するAIモデルによる包括的なインサイトも必要になります。

それは、適切なデータ、リアルタイムでの適切な応答、適切かつ安全なインフラストラクチャを包括的に組み合わせたものです。急速に変化する市場の動向や期待に応じてすぐに構築できるものではありません。何年もの地道な積み重ねが必要になります。



AIネイティブネットワークとは、適切なデータ、リアルタイムでの適切な応答、適切かつ安全なインフラストラクチャを包括的に組み合わせたものです。

コンテキストに応じた 長期的な視点の重要性

エンタープライズネット
ワーキングにおける
AI の誇大広告と AI ネイ
ティブの現実

はじめに

画期的な AI 導入の機会
の見極め

ネットワーキングの最適化の
重要性

複雑さを克服する希望の光

AI ネイティブは、適切なエク
スペリエンスファーストの問
いを立てることから始まる

コンテキストに応じた長期的
な視点の重要性

AI ネイティブネットワーキン
グのメリット

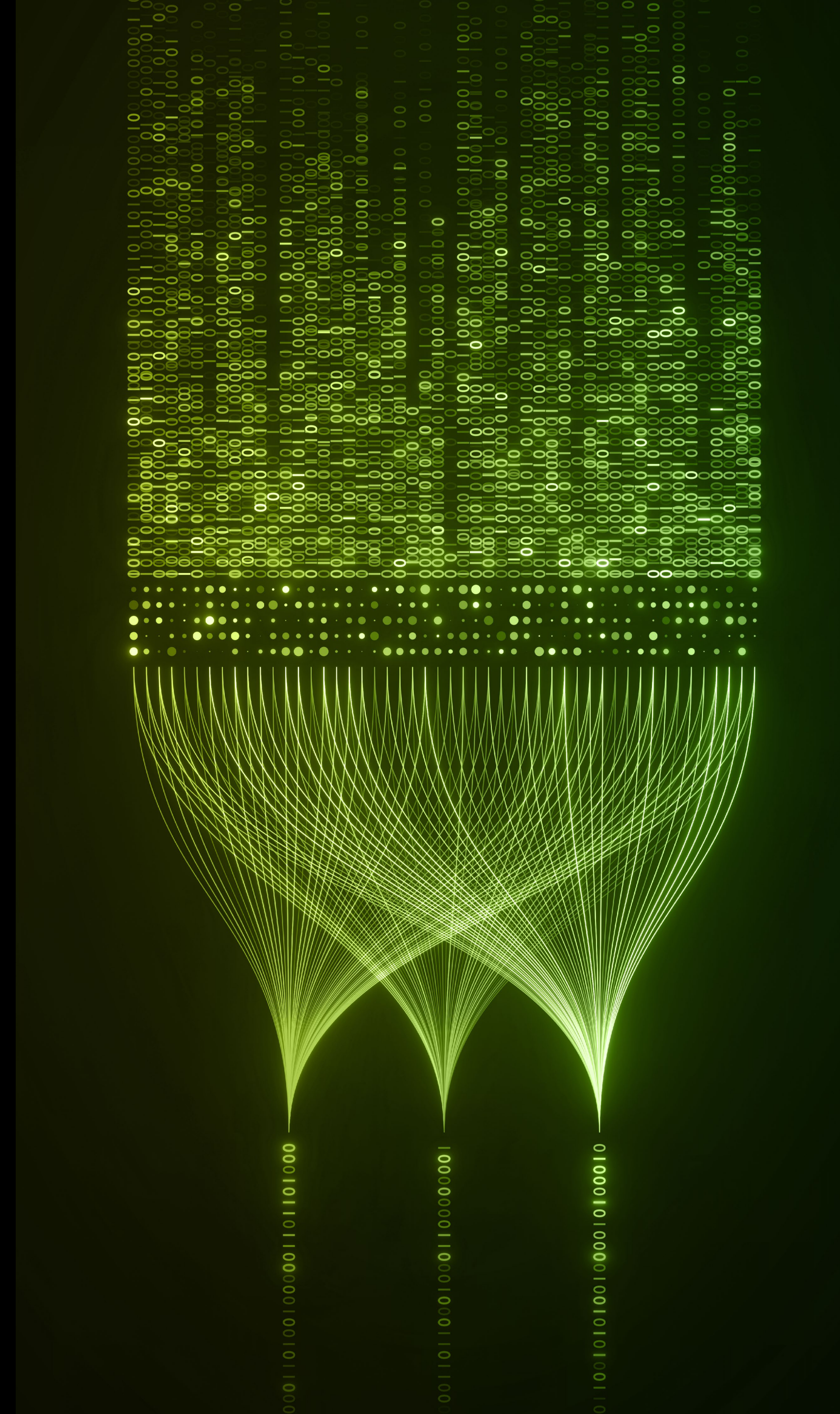
The NOW Way to Network

AI ネイティブネットワーキングプラットフォームに関するジュニパーの取り組みは 2015 年に始まりました。簡素化、生産性向上、信頼性向上、アシュアランス強化、規模に合わせた高いパフォーマンスの実現に注力しながら、モデルをトレーニングし、顧客の無数のネットワークから高品質なデータを取り込み、新たな機能で変革を起こし続けてきました。

他のソリューションがサイトやアプリケーションを可視化するのに対して、ジュニパーは個別のクライアントやアプリケーション、セッションのすべてを可視化し、個人のユーザーエクスペリエンスを最適化します。さらに、クライアントからクラウドまで、WLAN、LAN、WAN、およびデータセンター全体にサービスレベルを適用する共通のスキーマを提供しているのはジュニパーのみです。

この一歩先んじた 9 年間で意味することを理解するには、ジュニパーの AI ネイティブ機能がソリューションにどのように組み込まれているのか、またもたらされた成果の重要性に注目すれば一目瞭然です。

ジュニパーは個別のクライアントやアプリケーション、セッションのすべてを可視化し、ユーザーエクスペリエンスを最適化します。



誇大広告と現実：AI ネイティブ、ボルトオン AI、AI ウォッシング

自動化、インサイト、AI ドリブンのアクションにより、クラウドを通じてクライア
ントから最大の成果を得るには、それらを連携させる必要があります。他の代替手
段とは異なり、AI ネイティブ機能はエンタープライズネットワーク全体で一貫した
運用やエクスペリエンスが実現できるようにサポートします。

Mist AI の最新のマイクロサービスクラウドアーキテクチャは、WLAN、LAN、
WAN、データセンターおよびセキュリティの各分野にわたって真の可視性、自動化、
アシュアランスをもたらします。

	AI ネイティブネットワーキング	ボルトオン AI	AI ウォッシング
定義	運用の簡素化、生産性の向上、信頼できるパフォーマンスを大規模に実現するために、AI をコアコンポーネントとして統合する構想により開発されたコンピューターネットワーキングシステム	パフォーマンスを向上し、新たな機能を追加する継続的な取り組みの一環として既存のネットワーキングソリューションに AI を取り込んだもの	AI を活用しているとして売り出しているものの、市場の動向に乗ることを狙った十分な AI 機能を備えていないソリューション
アーキテクチャ	オープンAPIを備えたコントローラなしのマイクロサービスクラウドアーキテクチャ	コントローラベースのモノリシックなソフトウェアアーキテクチャ（混合型のポートフォリオ）	「Splash ページ」など、特定のアプリケーションにマイクロサービスを使い始めた段階
耐障害性	マイクロサービスをコンテナ化することで、あるサービスに障害が発生しても他のサービスに影響が出ないようにし、クラウドの接続がダウンしてもネットワークが稼働し続けるように徹底	冗長な仮想コントローラ、モビリティマスター、互換性マトリクスによる複雑なアーキテクチャ	コントローラとハイパーバイザー
俊敏性	ネットワークを中断することがない、迅速な更新	<ul style="list-style-type: none">新しいデバイス / アプリ / バグフィックスを更新する機能が劣るモノリシック（脆弱な）ソフトウェアそれぞれに適切なコードバージョンが必要な複数のサーバーリスクの高い更新	時間がかかる更新、または計画的なダウンタイムが長時間継続
インターフェイス	共通の AI エンジンと、有線、無線、WAN 全体の自動運転機能と AI ネイティブサポートを備えた画期的な仮想ネットワークアシスタント（VNA）により運用が合理化され、事後対応型のトラブルシューティングから事前対応型の修復への移行を実現	一般的な問題についてはダッシュボード、サポートチャットボット、NLP の旧バージョンに依存しており、問題の発見と解決には事後対応的な手動調査が必要	以下のような機能の微調整、手動での静的設定に数日必要 <ul style="list-style-type: none">ダッシュボードとネットワークアシスタントはクラウドのみAI なしクエリなし
導入の柔軟性とクラウド管理	<ul style="list-style-type: none">エンタープライズビジネスの規模に関係なく拡張可能、短時間で更新可能ワンクリックで効率的な展開を有効化全ライフサイクルを管理する Wired Assurance、Wi-Fi Assurance、WAN Assurance	<ul style="list-style-type: none">オンプレミスで、Software-Defined Access (SD-Access) 向けのクラウドサービスなしパリティが欠落したコントローラやクラウドは管理が複雑であり、クライアントのパフォーマンスに関する可視性は得られない	<ul style="list-style-type: none">同じ場所に配置されたデータセンターでホストされている仮想コントローラ

エンタープライズネット
ワーキングにおける
AI の誇大広告と AI ネイ
ティブの現実

はじめに

画期的な AI 導入の機会
の見極め

ネットワーキングの最適化の
重要性

複雑さを克服する希望の光

AI ネイティブは、適切なエク
スペリエンスファーストの問
いを立てることから始まる

コンテキストに応じた長期的
な視点の重要性

AI ネイティブネットワーキン
グのメリット

The NOW Way to Network

AI ネイティブネットワーキング のメリット

エンタープライズネット
ワーキングにおける
AI の誇大広告と AI ネイ
ティブの現実

はじめに

画期的な AI 導入の機会
の見極め

ネットワーキングの最適化の
重要性

複雑さを克服する希望の光

AI ネイティブは、適切なエク
スペリエンスファーストの問
いを立てることから始まる

コンテキストに応じた長期的
な視点の重要性

AI ネイティブネットワーキン
グのメリット

The NOW Way to Network

これで、AI ネイティブネットワーキングについてや、他のアプローチとの違いについ
ては詳しく理解していただけたと思いますが、疑問は残ります。キャンパスおよびブ
ランチ、さらにその先で AI ネイティブを優れたエクスペリエンスや実社会の価値に変
換するにはどうすればよいのでしょうか。

AIOps（IT 運用のための人工知能）

ジュニパーでは、当社固有の AIOps アプローチを AI ネイティブネットワーキング
プラットフォームのコアとして採用しています。アクセスポイント、スイッチ、ルー
ター、ファイアウォールなどのさまざまなソースから取得したリアルタイムデータ
を活用するジュニパーの AIOps は、ネットワークのさまざまな側面でパフォーマン
スやセキュリティを継続的に改善します。

- 有線および無線アクセス
- キャンパスネットワークコア
- SD-WAN
- データセンター
- セキュリティ
- 屋内位置情報サービス



ジュニパーのデータサイエンティストは、上述したエクスペリエンス重視の問いか
けから始め、ジュニパーの AI ツールキットを支える AI プリミティブを設計してい
ます。これらのツールキットは、リアルタイムまたはほぼリアルタイムで IT イン
フラストラクチャ全体から取得したリアルタイムテレメトリデータを利用して継続
的に強化されています。ネットワークパフォーマンスを継続的に監視および分析し、
速度、信頼性、効率性が最適化されるよう設定を自動調整しています。AIOps でネッ
トワーク障害やボトルネックを予測して未然に防ぐことで、予防メンテナンス措置
を講じてダウンタイムを短縮することができます。ジュニパーでは 9 年以上前から
開始して以来、この改良を行いつづけています。

AI を活用したイノベーションに取り組むことは、企業体制に直接影響するジュニ
パーの中心的な使命であり、AI リソースが最適に割り当てられ、活用されるよう徹
底しています。またジュニパーは、AI の使用において透明性を確保し、私たちのソ
リューションがミッションドリブンで説明可能であることを徹底するために設計さ
れた一連の AI イノベーションの原則 を遵守しています。

エンタープライズネットワークにおけるAIの誇大広告とAIネイティブの現実

はじめに

画期的なAI導入の機会の見極め

ネットワークの最適化の重要性

複雑さを克服する希望の光

AIネイティブは、適切なエクスペリエンスファーストの問いを立てることから始まる

コンテキストに応じた長期的な視点の重要性

AIネイティブネットワークのメリット

The NOW Way to Network



Marvisにより、チームは障害対応チケットの対応に追われる状況から問題を事前に特定し解決する方向に移行できます。

初のAIネイティブ仮想ネットワークアシスタント「Marvis」について

仮想ネットワークアシスタント（VNA）「Marvis」はAIOpsを超えるジュニパー独自のもう一つのイノベーションであり、IT運用チームによるエンタープライズネットワークとの関わり方を変革しました。2017年以降、ジュニパーはMarvisの機能を改良し、追加し続け、IT運用チームが障害対応チケットやバグ修正への対応に追われ続ける状況から問題を先回りして特定し解決する状況へと移行できるようにサポートしています。

Marvisは、ネットワークデバイスやアプリケーションから絶えずデータを取り込み、学習して、ワークフローの簡素化とネットワークの最適化を支えています。画期的な成果には、次のようなものがあります。

対話型アシスタント：NLP（自然言語処理）、NLU（自然言語理解）、大規模言語モデル（LLM）とともに生成AIを使用する対話型インターフェイスにより、IT運用チームはネットワークと対話することで、発生している事態を把握し、AIOpsによって浮き彫りになった問題に対する最善の対処法について具体的な回答を取得できます。

事前対応型問題特定：ジュニパーは業界初のAIネイティブネットワークデジタルエクスペリエンスツインを導入しました。それがMarvis Minisです。Minisは教師なしの機械学習でユーザー接続を事前にシミュレートし、ユーザーが障害対応チケットを上げる前に、ネットワーク設定を即座に検証してネットワーク全体から問題を見つけ、検知し、修正します。また、AIエンジンにデータを戻し、継続的なモデルの強化もサポートします。Marvis MinisはMarvisに標準搭載されており、追加のハードウェア、ソフトウェア、サブスクリプションはいずれも必要ありません。

事前対応型アクション：また、Marvisは事前対応型アクション（ファームウェアの問題、VLANの欠落、WAN回線の混雑の特定および対処、または人が開始したアクションが意図した結果になっているかの検証など）によって、WLAN、LAN、WAN、セキュリティの各分野にわたる多くのネットワーク問題の根本的原因を特定して解決することもできます。

The NOW Way to Network

エンタープライズネット
ワーキングにおける
AI の誇大広告と AI ネイ
ティブの現実

はじめに

画期的な AI 導入の機会
の見極め

ネットワーキングの最適化の
重要性

複雑さを克服する希望の光

AI ネイティブは、適切なエク
スペリエンスファーストの問
いを立てることから始まる

コンテキストに応じた長期的
な視点の重要性

AI ネイティブネットワーキン
グのメリット

The NOW Way to Network

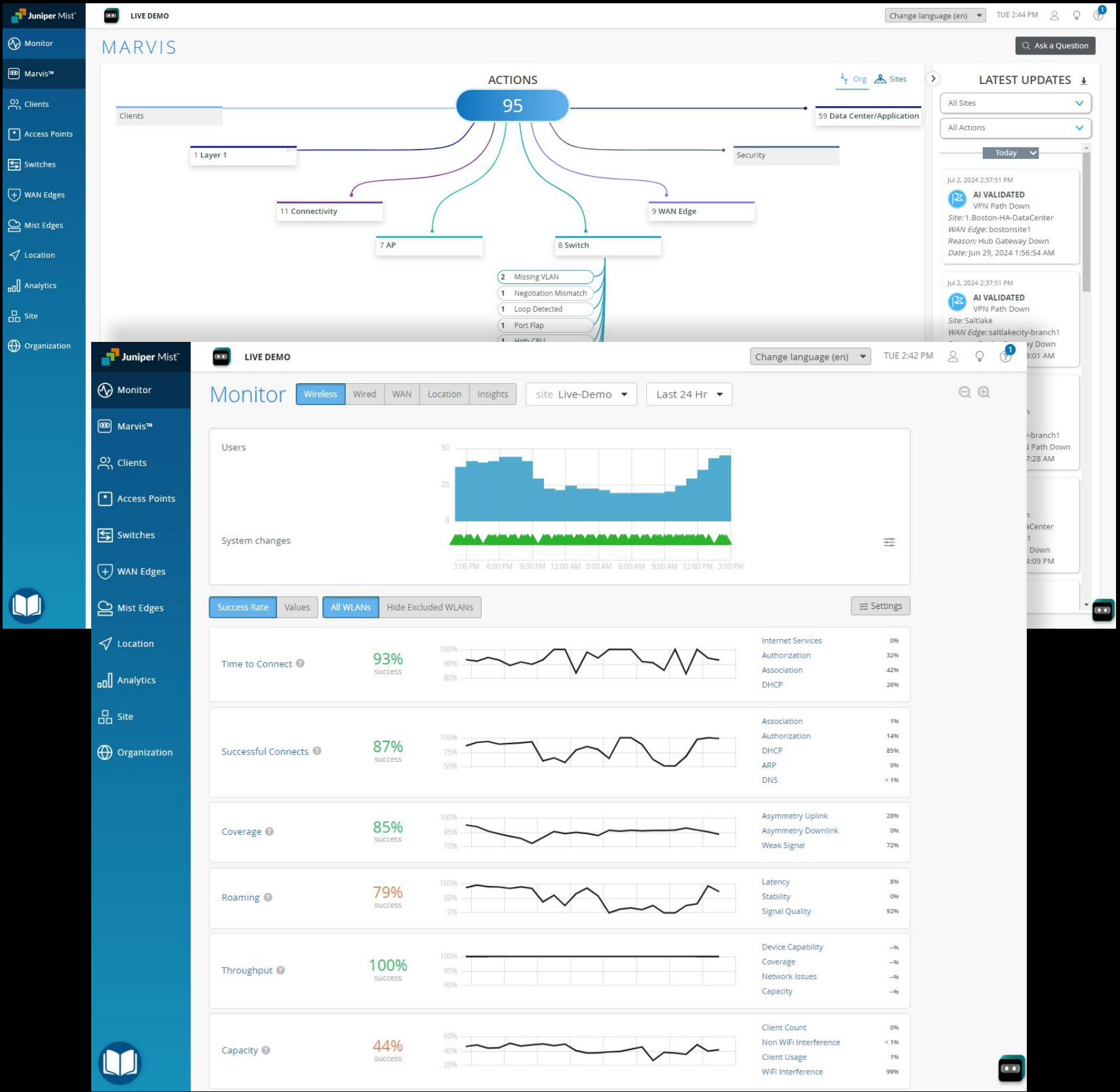
ユーザーがより優れた接続性を求めるに伴い、ネットワークはこれまで以上に多くのデバイスやアプリケーションに対応するようになり、その数は増え続けるばかりです。それと同時に、デジタル変革によって、データセンターからエッジ、クラウドにいたるまで、ネットワークの再構築が余儀なくされ、データの量は指数関数的に増加しています。さまざまな AI 機能を追加しても、コントローラベースのアーキテクチャでは、今日の厳しいビジネス要件で求められる規模、耐障害性、俊敏性、弾力性を実現することはできません。

ネットワーキングでは今後もより優れたものを求められ続けます。AI ネイティブネットワーキングもそのうちの一つです。すでに世界中の企業で、ユーザーや IT 運用チームに対して優れたエクスペリエンスを実現しています。ジュニパーの AI ネイティブネットワークは、最初から AI と ML のために構築されています。ネットワークのために AI を活用する企業に対しても、AI のために最適なネットワークを構築する企業に対しても、AI ネイティブネットワーキングプラットフォームは運用の簡素化、生産性の向上、信頼できるパフォーマンスの大規模な実現に必要な柔軟性、自動化、アシュアランスを提供します。

AI ネイティブのメリットの実例を参照する

この月次のライブデモでは、AI ネイティブネットワーキングプラットフォームの最新のマイクロサービスクラウドアーキテクチャがいかにしてネットワーク全体に真の可視性、自動化、アシュアランスをもたらすかをご覧ください。

[今すぐ登録（英語）→](#)



ジュニパーネットワークスについて

ジュニパーネットワークスは、単なる接続性は優れた接続エクスペリエンスと同じではないと考えています。ジュニパーの AI ネイティブネットワーキングプラットフォームは、AI を活用し、エッジからデータセンター、クラウドにいたるまで、最高かつ安全なユーザーエクスペリエンスを実現することを目的に、ゼロから構築されています。詳細については、ジュニパーネットワークスのウェブサイト（www.juniper.net/jp/ja）をご覧ください。X（旧 Twitter）、[LinkedIn](#)、[Facebook](#) でジュニパーをフォローしてご確認ください。



米国本社

Juniper Networks, Inc.
1133 Innovation Way
Sunnyvale, CA 94089 USA
電話番号：888.JUNIPER
(888.586.4737)
または +1.408.745.2000
FAX：+1.408.745.2100
www.juniper.net

アジアパシフィック、ヨーロッパ、 中東、アフリカ

Juniper Networks International B.V.
Boeing Avenue 240
1119 PZ Schiphol-Rijk
Amsterdam, The Netherlands
電話番号：+31.0.207.125.700
FAX：+31.0.207.125.701

日本

ジュニパーネットワークス株式会社
東京本社
〒163-1445 東京都新宿区西新宿 3-20-2
東京オペラシティタワー 45 階
電話番号：03-5333-7400
FAX：03-5333-7401
西日本事務所
〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 2-2-2
ヒルトンプラザウエストオフィスタワー 18 階
<https://www.juniper.net/jp/jp/>

Copyright 2024 Juniper Networks, Inc. All rights reserved. Juniper Networks、Juniper Networks ロゴ、Juniper、Junos およびその他の商標（一覧は[こちら](#)）は、米国およびその他の国における Juniper Networks, Inc. およびその関連会社の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標である可能性があります。ジュニパーネットワークスは、本資料の記載内容に誤りがあった場合でも、一切責任を負いません。ジュニパーネットワークスは、本発行物を予告なく変更、修正、転載、または改訂する権利を有します。